

議 事 録

<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 一部公開 ・ <input type="radio"/> 非公開			非公開 部 分 理 由 個人情報にかかると部分		
			文書管理責任者	保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和6年7月9日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 健康推進課保健地域医療係
					職・氏名 主査 田原 良美 印

会議等の名称	令和6年度 第1回東御市健康づくり推進協議会	開催日時	令和6年7月9日（火） 午後 1時15分～ 午後 3時05分
		場 所	総合福祉センター3階講堂
主催者(事務局)	健康推進課	司会者	武井健康推進課長・竹村会長
出席者	五十嵐 英美、松山 久美子、関 健、小林 正悟、五十嵐 壽、牛山 廣司、 花岡 豊一、中村 至、油井 今朝幸、阿部 由美子、竹村 洋子、荻原 絹枝、 山岸 智之、武田 順子、羽毛田 有理、古平 幸恵、（オブザーバー岡田真平）		
	寺田健康福祉部長、武井健康推進課長、柳澤保健地域医療係長、笹井健康増進係長		
	保健地域医療係 田原、片桐 健康増進係 小田中、柳澤紀理子、笠井、宮澤		
欠席者	井出 直子		

議 題	(議題) ・ (1) 市健康づくり計画等進捗状況について ・ (2) 第3次東御市健康づくり計画 前期計画（素案） について ・ (3) 東御市の健康状況について	(配布資料) 別紙会議資料のとおり 第2次東御市健康づくり計画後期計画概要版 東御市自殺対策計画概要版
決定事項 (要点を箇条書き)	・ 会長に竹村洋子委員、副会長に牛山廣司委員を選任した。	
次回への検討事項		
次回開催	(日時) 令和6年11月7日 午後 1時 15分から	(場所) 東御市総合福祉センター

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
委嘱書の交付	花岡市長	
1 開会	事務局	協議会の役割について説明
2 あいさつ	花岡市長	あいさつ
3 自己紹介		
4 会長、副会長選任		会長に竹村洋子委員、委員副会長に牛山委員を選任。会長・副会長あいさつ。
5 議題	進行：会長	
(1) 市健康づくり計画等進捗状況について		
ア 第2次東御市健康づくり計画後期計画「健康とうみ21」等	事務局	第2次東御市健康づくり計画後期計画概要、東御市自殺対策計画概要、「令和5年度保健衛生」について説明
イ 健康推進課事業概要		「令和6年度健康推進課事業の概要」等について説明
(1) 健康づくりに関する意見等について	委員	保健衛生の9ページで母子保健事業の妊婦歯周病検診があり無料チケットとして受診券を発行しているが、私もそうだったが2子目の妊娠になると、上の子が未満児で保育園や幼稚園に入っていない方が多い。健康福祉部の子ども支援の中で、どんな理由であっても一時預かりをする事業が行われていると思うので、歯周病検診のチケットと一緒に一時預かりの無料チケットを渡して、上の子を無料で預けられるチケットをもらえればもう少し受診者数も増えると思うので、併せて検討していただきたい。
	事務局	こども家庭支援課と相談させていただく。
	委員	市のほうで大変よくやっているといると思うが、健康で長生きするためには何が大切かという今生きている人達の健康が対象。難しいことだが、これから生まれてくる人達をどうするか、人数を増やすとか、そういうことによって人口構成を変えていく、経済的な構築の意味もあるので、人口を増やすような政策も東御市の健康を維持するうえで大切だと思う。このことについて今後どのようにお考えか教えていただきたい。
	事務局	人口問題の関係につきましては、こども家庭支援課や企画政策課と協議をしながら、施策を進める形をとらせていただいている。具体的には子どもを産み育てやすいような対策を中心に進めていただいていると認識しており、健康推進部門ではそれを補完する意味で生まれたお子さんが健康に育っていくように。また、生涯にわたっての健康づくりは妊娠期から始まっているという認識の下で、お母さんたちへの保健指導からスタートしているというところでやらせていただいている。人口増に対する施策がすぐに出てこなくて申し訳ないが、それについては関係課協議の下で、連携しながらとらせていただいている。
	委員	以前人工授精の補助金があったと思うがどうなっているか。今は保険適用も色々出てきているが。
	事務局	保健衛生の14ページに載せさせていただいてあるが、令和4年度から保険適用が拡大されたため、保険適用外の自費の方については、市でも対象経費の1/2を上限20万円で通算6回までの補助を行っている。昨年度は不妊治療13件、不育症治療1件を補助した。

<p>討議内容及び経過</p>	<p>(発言者名)</p>	<p>(発言内容)</p>
<p>(2) 第3次東御市健康づくり計画 前期計画(素案)について</p>	<p>委員</p>	<p>今後もできるだけ健康と一緒に人口を増やす施策をしていただきたい。</p>
	<p>委員</p>	<p>東御市が同規模市町村と比べて保健師が非常に少ない中で多くの事業をしていただいているということを改めて感じた。 保健衛生の45ページに長野県立大学との包括連携協定などいろいろな方々のお知恵をいただきながら、施策を推進していることもぜひ皆さんのお耳に入れておきたい。また、昨年度、全国保健師長会という全国規模の研修会を長野市で行ったが、そこでの実践活動の発表も、幅広い事業を丁寧にやっていただいているということを東御市にさせていただいた。保健衛生を読んだが、自分たちの頑張ったことを載せていないではないかということで、改めて皆さんの前で発表したい。本当に東御市の保健師、栄養士、健康づくりの部署に関わる皆さん頑張っていたらいい。保健所も負けないように管内で健康づくりを一緒にやっていきたい。 本当にいい地区でこのようにまとめもしっかり7月に冊子になって出せる市町村はなかなかないので、どうか皆さん保健師・栄養士を応援していただいて、地域の健康づくりを皆さんと一緒にやっていただきたい。</p>
	<p>事務局</p>	<p>「第3次東御市健康づくり計画 前期計画(素案)」について説明</p>
	<p>委員</p>	<p>細かく分析しており、多くの課題があることを認識した。地域活動でも子どもの問題、あるいは高齢者の問題、認知症などの問題等かなりたくさん問題がある。そういう中で、健康づくりというのは大変大事であるということを今日お話を聞いて認識した。これからまた資料をじっくり見てご提案させていただきたい。</p>
	<p>委員</p>	<p>大変多くの施策を行っていただいているということが先程委員の発言からもあったが、保健師の数が足りているのかということと、どのように対応していくのか。それと、72ページの取組みの中で、乳幼児期のアレルギー予防として、「保湿等を丁寧に行います」とあるが、アレルギーと保湿の関係を初めて聞いたがどういうことなのか教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>保健師の問題については、今年度新規採用があり、充足とまではいかないが、ある程度改善し、昨年度と比べると安心して事業に取り組めると担当課では考えている。</p>	
<p>事務局</p>	<p>乳幼児期のアレルギー予防と保湿に関しては、皮膚から（食物アレルギーが）入ってくるとあるので、現在出産して入院しているときからそういった指導をしていると聞いており、しっかり肌を保湿することがアレルギー予防になるということをお伝えしている。</p>	
<p>事務局</p>	<p>皮膚の荒れている部分から（食物アレルギーが）入るとアレルギーになりやすいということが最新の知見としてあり、肌を保湿してきれいな状態、すべすべの状態に保つておくことで、アレルギーを予防できるということが研究で出ているため、保湿を勧めている。</p>	
<p>委員</p>	<p>5年前、和区長会の役員をやっていて、前回の策定委員になって出席したことがあった。そのときと今回で、またこのように色々な資料で5年計画ということでやってるが、その中で、やはり地域づくりも本当に少子高齢化になっており、和地区でも一人暮らしの高齢者宅、夫妻でも2人が後期高齢者となっていて車もだんだん乗れなくなって困っているというような状況がある。自分の区もそうだが、地域としてもどのようにしていくか、課題はあるがいい対処法がない状況で、この中の98・99ページに高齢者対策が重要だということで、私の区は老人会があり、いきいきサロンを開催しているが、他の区ではもう老人会は休止で活動ができないということを聞いている。いきいきサロンに出てこられる元気なお年寄りはまだいいが、家の中に閉じこもっている方を、支え台帳もあるが、民生児童委員の方も広い面積世帯を受け持っているというようなことで、毎日見るわけにもいかない。支えあいの兼任の人もそうは見つけないというようなことで、本当に健康のことや熱中症も一人暮らしの方がエアコンが壊れていて倒れて亡くなったという全国ニュースが毎日流されている中で、きめ細かな高齢者の訪問といったものを、社会福祉協議会と一緒にこの高齢者対策の方でぜひ少し検討してもらい、一人暮らしの方をどういうふうにして支えていくかというようなことも、もう少しこの今回の計画に少し入れていただければ大変ありがたい。</p>	

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
	事務局	福祉課、社協と連携しながら、取り組ませていただきたいと考えている。また、特に福祉の方で高齢福祉計画という高齢者を中心とした支援計画を策定するため、こちらの方の事業の中での連携をとらせていただきたい。
	委員	歯科健診などの項目がいくつかあるが、これらについては、私自身及び医人会でできる範囲で可能な限り東御市の皆さんの健康増進に協力していきたい。
	委員	自殺予防の87ページで、現状を踏まえてということで、高齢者に焦点を合わせて対策していこうということだが、ゲートキーパーの養成をしているわけだが、このゲートキーパーについては、年齢問わず勉強したい人は誰でもいいということになってる。高齢者に対応していくということになれば、それなりの組織や団体、簡単に言うと民生児童委員あたりが、これについて認識を深めたり、研修をしてやっていけばいいかと思うが、その辺のゲートキーパーの養成の仕方と、この高齢者に焦点を当てて対策を立てていくということのずれは、高齢者対応の民生児童委員と協力してやっていくということで埋まっていくかどうか、どうやって埋めていくか。
	事務局	現状ゲートキーパーの養成講座については本当に希望者のみの受講という形になっており、あとは一部市役所内部の職員向けにやっている。そのため講習受けた方も個人的な相談というところに落ち着いているのが現状だが、これまでも関係する団体、先ほど出た民生児童委員であったり、社協の職員であったり、そういった専門的な方を対象としたゲートキーパー講習会というのも必要ではないかという声は内部でもあるため、関係部署とも相談しながら計画に位置づけるかどうかも含めて、考えさせていただきたい。
(3) 東御市の健康状況	岡田身体教育医学研究所長	「東御市の健康状況について」説明。
	委員	非常にきめ細かなわかりやすいデータをご説明いただきありがとうございます。私も専門は民生の方ですが、最後の方の車検に例えた説明が非常にわかりやすく、他の人たちにもこのような例えをして説明をすると、何か健康チェックができるんじゃないかと感じた。
	委員	今年初めての参加で様子がよくわからないので失礼な質問かもわからないが、特定健診データからというのが43.9%と書かれているが、残りの方、例えば個人的な病院に行ったそのデータは市にバックされるのかお聞きしたい。
	事務局	こちらの数字は、東御市内で行っている健診や人間ドックをやっていただいている方のデータ、あとは市内のかかりつけの先生のところ独自に血液検査をしてる方のデータをいただいた方たちのパーセンテージになっており、そちらの血液検査の結果については市の方にフィードバックされております。それを今分析していただいた8ページの上の図がそのデータの結果となっております。
	委員	基本方針から、生活習慣病とか特定健診、メタボリックシンドロームという言葉が、私の中でお腹をずっと引っ込めている状況を作っているが、私も健診を受けたり受けなかったりしていて、この市の施策として、特定健診を受けましょうということもやっているが、私40代で自分の体は大丈夫だろうということで、健診を例えば受けても、この車検の例えでいくと交換、治療しなさいってところに関してはまだ大丈夫だろうということで、好きなものを食べてお酒を飲み続けているっていう状態なので、なかなかこういったことを耳にすることが少ないというか意識の中に入っていないので、耳に入っていないかもしれないが、こういった機会に私も来たので、周りの友人にも健診を受けて健康づくりしましょうってことを伝えたい。また、せつかくこういうすばらしい施策があるので、何をしたら30代から40代50代の方に伝わるかわからないが、また何かの機会に考えてお伝えできればと思うので、市の方も健診を受けてくださいという機会があれば、子供を通じてとかいうと割とわかりやすいのかなと思いますので、小学生に、お父さんも健康診断を受けてくださいって言うのも、子どもから言われるとはいやりますねっていう効果もあるかもしれないなと感じたので、そういったちょっと変わった広報の仕方もあるといいのかなと思う。

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
	委員	<p>自分の中で、ずっとスポーツをしていて自分は健康だろうという認識があったが、健康診断を受けると思った以上に健康ではないという評価が帰ってきて少し愕然とした。健康と言っても、体の健康と心の健康があると思うが、うちはおじいちゃんとかおばあちゃんとか同居していて、年齢的にも80を超えてきて、病院通いなどが多くなり、私たちも一緒に病院に連れて行ったりいろいろするようになり、ストレスと言ったらいけないが、多少はそういうストレスもあったりして、それによって自分の時間がなくなり、さらに心の健康というところにも少しは障害が起きてるのかなというふうに思い始めていて、その辺のところを、家族全体で健康でいるためにどうしたらいいかというのも今日改めて考えさせられた。</p> <p>家に持ち帰って、おじいちゃんおばあちゃん、自分たちも子供も全員健康でいるために、これから考えていきたい。</p>
	委員	<p>いろいろなデータを議題の(1)から(3)までご説明いただき、こういった特定健診の話やその他データの方を確認させていただいた。</p> <p>まだ自分の中で解釈が難しいところがあるので、感想等になってしまうが、農協でもいきいきサロンのような健康教室を開いているので、こういったところで東御市の力になれるように、今後も引き続きそういった企画をしていきたい。</p>
	委員	<p>親族にも要支援を受けている者がいて、日頃、東御市のケアマネやケアポートみまきの訪問介護などでお世話になっている。そういった国からの支援や市からの援助をととてもありがたく感じている。</p> <p>健康づくりということで、心身ともに健康でなければ、病気のものがいたりすると、やはり誰か支援する人が必要で、そうするとみんな共倒れになってしまうこともある。そういった中で市の支援があるととてもありがたく感じている。</p>
	委員	<p>今訪問看護の話が出て、それから他の委員からも民生児童委員とタイアップするという話があった。</p> <p>これは多分、社協になると思うが、最近、訪問介護員、いわゆるホームヘルパーの人手不足が相当割合が高くなってきている。私も含めて団塊世代の全員が来年後期高齢者に突入することでさらに介護の関係で利用者が増えると思う。</p> <p>そのような方々の健康を守り、支えていく上でもホームヘルパーの確保を増やしていく政策が必要だと思う。例えば少し生意気なことを言わせてもらうが、介護報酬を引き上げるとか、介護報酬を引き上げて安定的に働ける環境づくりが必要かと思われるので、ぜひ社協ともよく話し合っていていただいて、ご努力をお願いしたい。</p>
6 その他	事務局	<p>「策定スケジュール」について説明</p> <p>本日皆さまからいただいた意見を踏まえて8月の庁内会議を実施し、10月末には案を作成して、皆さまのお手元にお届けする。</p> <p>次回の会議を、11月7日(木)に予定している。内容は、諮問を予定しているのでご都合つけて出席をお願いしたい。</p> <p>本日の議題について、明日以降も受けつけているので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>「信州ウォーキング大賞2024」について説明</p> <p>事業所内で、誘い合わせてご参加いただければと思います。</p>
7 閉会	副会長	閉会